

中条学区まちづくり推進委員会

委員長 安倍 義弘

（問合せ先） 084-967-0740（中条交流館）

## 事業内容

- |   |  |
|---|--|
| <p>(1) ブックスタート（通年）<br/>ふれあい料理教室（11月25日、2月28日）<br/>友愛訪問（年越しそば配達）（12月11日）</p> <p>(2) 学区人権教育講演会（9月16日）<br/>住民学習会（11月15日、16日）<br/>人権文集「あゆみ」17号 発行（3月）</p> <p>(3) 「中条っ子の安全」幟旗掲示（4月・7月・11月）<br/>見守り隊（通年）<br/>全国交通安全優良学校記念事業 クリアファイル作成<br/>子ども安全確保研修会（7月21日）<br/>子ども自転車大会参加（5月21日・6月18日）<br/>通学路危険個所の合同点検（10月28日）</p> <p>(4) 防災講演会（7月1日）<br/>自主防災訓練（11月27日）<br/>避難行動要支援者の実態把握（通年）<br/>防火防災推進事業（通年）</p> | <p>(5) 中条学区文化祭（10月29日、30日）</p> <p>(6) 中条学区夏まつり（中止）</p> <p>(7) ニュースポーツ普及事業（2月25日）</p> <p>(8) 歴史講座（6月27日）<br/>福山城見学（11月12日）<br/>木之上城山道整備（1月15日）<br/>ウォーキング（2月12日）<br/>学習活動（通年）<br/>民俗芸能発表会出演（10月8日）<br/>神辺文化連盟まつり出演（11月27日）</p> <p>(9) 環境ポスター・標語掲示（文化祭）<br/>ポイ捨て禁止幟旗掲出（通年）<br/>箱田川清掃（6月5日、1月22日）<br/>環境出前講座（2月22日）</p> <p>(10) 広報誌「中条のまちづくり」<br/>第53～56号発行（年4回）</p> <p>(11) コミュニティ育成事業（通年）</p> |
|---|--|

友愛訪問  
（年越しそば配達）



## 成果

総合防災訓練に併せての町内会別自主防災訓練が3年目となり、年々工夫が加えられ、より意義のある内容になっていると感じられた。また2022年度も町内会毎の住民学習ができず役員研修を2日間実施し、学習機会の継続が人権感覚の浸透に繋がっていると確認できた。

## 課題

地域活動の多くが中止・縮小となり、ほとんどの役員が改選される2023年度は、地域活性化の再構築に大きな力が必要となる。

## 課題解決にむけて

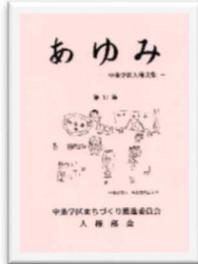
人口減少や少子高齢化、コロナ禍などによって生活環境が大きく変化した。それに伴い地域活動をするため原点に戻り、地域活性化に向け「まちづくり計画」を再度、見直す必要がある。

# 「チーム中条」～住んでいて良かったと実感できる まちづくり・絆づくり～

## 人権部会

1989年度（平成元年度）の初版発刊以来、2年に1回発行の人権文集「あゆみ」を第17集として、中条学区の多くの方々の「声」を一輪の年輪として増やすことができました。

また、地域住民、各組織役員に向け、「人権」を考える場を継続的に設け、意識の高揚を図っています。



住民学習会



人権教育講演会

## 安心安全部会 (自主防災会)

防災講演会



「大雨！？避難！？ど～したらええん！？」

防災士・気象予報士で広島県自主防災アドバイザーの玖保陽子さんに、気象庁の防災情報「キキクル」の活用方法などを学びました。「危険な場所に住んでいることを理解し、何も起きていない時こそ一人ひとりが防災を考えることが大切」と、中条の地形図を見ながら広島弁で説明していただきました。

## 環境部会

コロナ禍でも地域活動が続けるため、オンラインツールを効果的に活用し、環境にやさしいまちづくりをめざして、地域でできることについて考えました。

中条学区初のハイブリッド会議を開催！



箱田川清掃



## 地域文化保存・学習



中条ってやっぴゃーすげーのーウォーキング



木之上城跡山道整備



福山城見学



中条に伝わる民謡、特に盆踊りとその音頭(口上)によって踊っています。

中条民謡保存会と中条小学校児童で地域の文化伝承のため、活動を行っています。

